

10月5日：VN 指数は反発、1,100 ポイントの大台を回復

2年ぶりの安値を付けたVN指数は、水曜日の取引で節目の1,100ポイントを再び回復した。しかし出来高は少なく、今後のマーケットの回復に影響する恐れがある。

ホーチミン市場のVN指数は2.42%高の1,104.26ポイントで取引を終えた。同指数は直近2日間で5%近く下落していた。

ハノイ市場のHNX指数も2.76%高の242.12ポイントで引けた。こちらも直近2日間で6%近く下げていた。

「マーケットが急落した後、本日の力強い上昇は、投資家の不安を少し和らげた」とアナリストは話す。

大型株は再びマーケットの上昇をけん引した。

VN30指数は1.79%高の1,117.38ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、27銘柄が上昇した。その中でもビンググループ関連銘柄は、指数の上昇に大きく貢献した。ビンホームズ (VHM) が6.3%高、ビンググループ (VIC) が5.3%高、ビンコムリテール (VRE) が1.1%高とそれぞれ上昇した。

銀行株も堅調な動きとなった。そのうち上昇は25銘柄に及んだ。下落はアジアコマースシャル銀行のみで、変わらずもHDバンク (HDB) とサイゴンバンク (SGB) にとどまった。主な値上がり銘柄にはエクシムバンク (EIB) +6.92%、ヴィエティンバンク (CTG) +6.02%、軍隊商業銀行 (MBB) +2.13%、サコムバンク (STB) +2.67%が含まれた。

マーケットは上昇したものの、出来高は減少した。売買高は前日比21%減の5億500万株、売買代金は前日比14%減の10兆4,000億ドン (8億2,450万米ドル) となった。しかし株式市場のアナリストは、投資家が安値で狼狽売りをしていないことから、売り圧力が弱い下落になっているとみる。

「マーケットでは、VN 指数は下値である 1,080 ポイント、VN30 指数は下値である 1,100 ポイントでそれぞれ反発したが、前日からの弱い値動きはなお続いた。そして売り優勢で、買いは控えめとなっている」 (ベトドラゴン証券 (VDSC))

「マーケットは引き続き難しい相場展開が予想される。そのため投資家は引き続きマーケットの動きに注意し、自身のポートフォリオを安全に保ち、投資資金の流入を待つ必要がある。」 (ベトドラゴン証券アナリスト、Phuong Phạm 氏)

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。